

2022年6月22日

## 住友理工、人とくるまのテクノロジー展 2022 NAGOYA に出展

～CASE 関連「センシング」「熱マネジメント」2領域の製品を出品～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、6月29日（水）からポートメッセなごや（名古屋市港区）で開催される「人とくるまのテクノロジー展 2022 NAGOYA（名古屋展示会）」に住友電気工業株式会社（大阪府中央区）、住友電装株式会社（三重県四日市市）と3社共同で出展します。



電気自動車（EV）の拡大や、自動運転車の技術進歩など「CASE<sup>1</sup>」への取り組みが加速し、自動車産業が大きな変革期を迎える中、当社はコアコンピタンスである「高分子材料技術」「総合評価技術」を駆使し、新たな製品や材料の研究・開発に積極的に取り組んでいます。

本展示会では、特に「C：Connected」「A：Autonomous」「E：Electric」に関わる当社グループの製品を展示します。

「Connected」「Autonomous」に貢献する製品として、センシング領域である、モニライフシリーズ「モニライフ・モビリティ（ドライバーモニタリングシステム）」「モニライフ・ウェルネス（バイタルセンサー）」「モニライフ・プラットフォーム（クラウドサービス）」を出展。「Electric」に貢献する製品では、熱マネジメント領域の、「薄膜高断熱材：ファインシュライト」「電池セル間断熱材」「耐火絶縁カバー」を展示予定です。

<sup>1</sup> 「C：Connected（つながる）」「A：Autonomous（自動運転）」「S：Shared & Services（シェアリング）」「E：Electric（電動化）」

## <開催概要>

展示会名	人とくるまのテクノロジー展 2022 NAGOYA
名古屋展 会期	6月29日(水)～7月1日(金)
名古屋展 会場	ポートメッセなごや
名古屋展 ブース No.	133
オンライン	<a href="https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/">https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/</a> プレオープン： 6月22日(水)～28日(火) ONLINE STAGE2： 6月29日(水)～7月5日(火)

## <展示品紹介>

### C : Connected、A : Autonomous 対応 モニライフシリーズ

#### >>モニライフ・モビリティ (ドライバーモニタリングシステム)

当社独自開発の「SR センサ」をクッション形状に加工してシート  
の座面に設置し、「SR センサ」で計測した座面の圧力変化から、  
座るだけでドライバーの心拍・呼吸状態および体の動きなどを検知  
します。測定値から、疲労や居眠り、急病予兆などドライバーの状  
態を推定し、警告や運転支援システムの作動、外部への通報などの  
サービスへとつなげます。



#### >>モニライフ・ウェルネス (バイタルセンサー)

モニライフ・ウェルネスは、就寝時などにバイタルデータを計測  
することを目的に開発した製品です。薄くて柔らかいのが特長で、  
マットレスに置いて寝るだけで使用可能となり、就寝を妨げるこ  
とはありません。



#### >>モニライフ・プラットフォーム (クラウドサービス)

モニライフ・プラットフォームは、モニライフ・モビリティやモ  
ニライフ・ウェルネスなどで測定したバイタルデータを蓄積・解析  
するためのクラウドサービスです。大学との共同研究で開発した独  
自アルゴリズムによって、「睡眠の質」や睡眠状態も推定するこ  
とが可能です。



イメージ

## E : Electric 対応

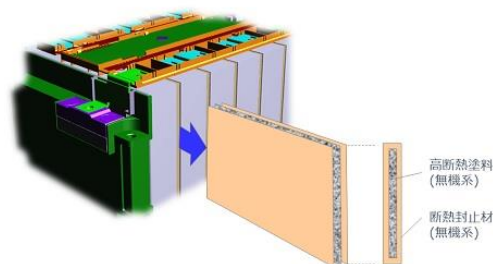
### >> 薄膜高断熱材：ファインシュライト

高分子材料技術を応用し、空気が動けないほど微細な、ナノサイズの細孔を持つ高断熱ファイラー（シリカエアロゲル）を塗料化。不織布、成形樹脂などの基材にコーティングすることで、静止空気以上の高断熱性を発揮します。モビリティがEV化すると、すべてのエネルギーを電気で賄うことになるため、冷暖房の効果を高める本製品は、航続距離の延長に貢献します。車載用のほかに、フードデリバリー・コロナワクチンの輸送などですでに採用実績があり、多様な分野での活用が期待されています。



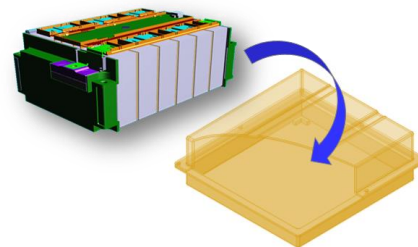
### >> 電池セル間断熱材

ファインシュライトのバインダー配合技術をさらに発展させ、数百℃の高温に耐えられる断熱材をEVのリチウムイオン電池向けに開発。セルが異常に発熱した際に、隣接するセルへの熱連鎖を抑制し、車両火災につながるような大事故を回避する役割を担います。顧客の要求に応じて、断熱性能や硬さなどの特性を調整し、最適化を図ります。



### >> 耐火絶縁カバー【初出展】

1,000℃の炎に10分間耐えることができる、難燃性・耐火性を兼ね備えた素材を用いたカバーです。EVなどの電池のカバーとして使用することで、万が一の事故や火災時に、乗車者の安全性を高めることに貢献します。



以上

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先  
**住友理工株式会社**

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋  
tel 052-571-0259 e-mail [product.info@jp.sumitomoriko.com](mailto:product.info@jp.sumitomoriko.com) <https://www.sumitomoriko.co.jp/>